

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



01 健康診査の推進（成人健康診査サービス：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均	
基本	高齢化率	25.8%	25.9%	25.6%	58.7	++	22.4%	31.4%	15.7%	23.0%	
	特定健康診査対象者率（全人口対比）	18.3%	18.5%	18.4%	51.3	標準的	18.1%	22.6%	13.2%	18.5%	
結果	特定健康診査受診者率（全人口対比）	7.3%	8.7%	8.2%	58.9	++	6.5%	12.1%	3.4%	6.7%	
	特定健診実施率（受診者／対象者）		46.8%	44.7%	60.0	+++	35.9%	53.9%	17.4%	35.9%	
	受診者に対する特定保健指導対象者率	21.3%	13.2%	10.4%	41.8	—	13.0%	24.8%	6.8%	13.2%	
	特定保健指導対象者構成率（09年）	動機付け支援 60.3% (58.4)・積極的支援対象者 39.7% (41.6)				平均 動機付け 73.0% (71.3)・積極的支援 27.0% (28.7)					
	各種がん検診延べ受診者率	37.7%	39.4%	38.8%	66.1	+++	23.7%	43.5%	6.5%	24.1%	
	乳・胃・子宮・大腸以外に実施されているがん検診	前立腺・肺・その他			平均 前立腺 87.7% (85.1)・肺 89.5% (91.0)・その他 24.6% (11.9)						
	その他成人検診延べ受診者率	6.8%	6.36%	5.8%			2.8%	15.6%	0.0%	2.6%	
	実施されているその他検診	歯周疾患・骨量・その他			平均 歯周疾患 75.4% (77.6)・骨量 68.4% (68.7)・その他 84.2% (76.1)						
	特定保健指導実施率	19.5%	28.7%	32.4%	100.2	突出値	13.1%	32.4%	6.8%	25.6%	
	特定保健指導実施構成率（09年）	動機付け支援 67.6% (69.3)・積極的支援対象者 32.4% (30.7)				平均 動機付け 80.0% (78.4)・積極的支援 20.0% (21.6)					
成果	10万人対死亡数	1,031	1,076	997	54.6	+	902	1,428	602	902	
	3大死因＋糖尿病死亡率	55.7%	53.9%	63.7%	71.1	突出値	57.4%	63.7%	50.6%	58.2%	
	構成比	悪性新生物	%	23.4%	25.7%	38.0	—	29.4%	34.7%	20.0%	29.8%
		心疾患	%	15.2%	19.9%	69.8	+++	15.8%	19.9%	11.0%	15.8%
		脳血管疾患	%	14.1%	17.3%	75.2	突出値	11.0%	18.2%	5.6%	11.4%
		糖尿病	%	1.2%	0.8%	42.8	—	1.2%	2.7%	0.0%	1.3%
コスト	特定健康診査受診者1人あたりコスト	6,727円	7,242円	10,563円	50.9	標準的	10,307円	18,351円	5,537円	9,570円	
	特定健康診査受診者負担割合	20.9%	14.3%	9.7%	59.6	++	4.7%	20.7%	0.0%	5.4%	
	各種がん検診受診者1人あたりコスト	2,216円	2,502円	3,310円	41.5	—	4,607円	9,447円	2,156円	4,352円	
	各種がん検診受診者1人あたり負担額	394円	493円	448円	52.9	+	379円	1,051円	0円	394円	
	成人健診総受診者1人あたりコスト	3,604円	3,834円	5,216円	45.9	-	5,938円	11,568円	2,784円	5,537円	

■ネットワーク会議コメント 全国平均レベルでは、特定健診実施率を含むほぼ全項目で変化がない中、特定保健指導実施率が下がっており、特定健診は広がっていない現れと言わざるをえません（高齢化率の下がり著しく高い都市からのデータ提供がなかったため。以下同）。その中で、南魚沼市は、高い特定健診実施率・各種がん検診延べ受診率を示しています。悪性新生物死因率が低いのはその成果と見られますが、心疾患・脳血管疾患死因率ともに非常に高く、しかも 09 年度に比べて、悪性新生物死因率も含めて、いずれも増えています。特定保健指導実施率は非常に高いものの、効果が表れるには時間がかかると見ざるをえないかもしれませんが、事態の打開を図る検討が必要と見られます。

◆担当課コメント

- ・特定健診受診率と特定保健指導実施率の向上と内容の充実により生活習慣病等の予防に努め、心疾患・脳血管疾患の原因となる高血圧予防のため減塩対策や血圧自己管理の啓発を重点的に取り組みます。
- ・がんの早期発見のため、市民へのPR、受診しやすい環境づくり、未受診者への勧奨により、基礎健診・がん検診の受診率向上を図ります。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



02 妊婦・乳幼児健康診査の推進（妊婦・乳幼児健康診査サービス：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09 年平均
基本	健康診査対象妊婦率（全人口対比）	0.83%	0.91%	0.86%	48.6	標準的	0.88%	1.31%	0.56%	0.88%
	法定1歳半健診対象者率（全人口対比）	0.83%	0.83%	0.79%	44.9	—	0.86%	1.17%	0.58%	0.85%
	法定3歳児健診対象者率（全人口対比）	0.77%	0.86%	0.82%	44.9	—	0.88%	1.16%	0.61%	0.86%
	予防接種対象者率（全人口対比）	8.1%	10.8%	11.1%	48.3	標準的	11.5%	17.0%	7.7%	11.6%
結果	妊婦 1 人あたり無料受診票配布数	5.0 枚	14.0 枚	14.0 枚	48.5	標準的	14.4 枚	24.1 枚	0.0 枚	14.3 枚
	妊婦一般健診無料分受診率	97.2%	70.6%	76.8%	45.9	-	80.3%	114.6%	50.5%	77.1%
	法定 1 歳半健診受診者率	98.8%	98.0%	96.5%	54.9	+	95.1%	100.6%	86.5%	94.5%
	法定 3 歳児健診受診者率	96.5%	98.3%	97.0%	59.9	++	93.0%	100.0%	77.0%	93.2%
	予防接種接種率	95.1%	96.4%	98.5%	59.5	++	89.4%	103.5%	56.5%	87.0%
成果	周産期死亡率	7.72	7.87	6.33	57.5	++	4.55	11.55	0.00	4.31
	乳幼児死亡率	0.79	0.41	0.40	44.7	—	0.65	2.37	0.00	0.57
コスト	妊婦 1 人あたりコスト	31,183 円	75,790 円	88,815 円	58.3	++	77,706 円	103,960 円	37,549 円	72,258 円
	法定 1 歳半健診 1 人あたりコスト	11,109 円	7,635 円	8,043 円	57.4	++	5,688 円	14,913 円	1,364 円	5,393 円
	法定 3 歳児健診 1 人あたりコスト	11,009 円	6,879 円	7,247 円	55.5	++	5,566 円	13,918 円	1,351 円	5,273 円
	1 歳半+3 歳児健診 1 人あたりコスト	11,061 円	7,250 円	7,637 円	56.6	++	5,628 円	14,395 円	1,404 円	5,767 円
	予防接種 1 人あたりコスト	6,710 円	6,877 円	6,155 円	43.5	—	7,489 円	16,049 円	4,714 円	7,059 円

■ネットワーク会議コメント 全国平均レベルでは、09 年度とほぼ同じ数値となっている中、南魚沼市は、少子化が進んできた様子が伺えますが、法定乳幼児健診の受診率は比較的高めです。乳幼児死亡率が下がって安定しているのは、その成果と見られますが、周産期死亡率は高めのままです。妊婦健診後のフォローの強化が必要かもしれません。コストはやや高めです。

◆担当課コメント

- ・周産期死亡は、出産年齢、職業、生活習慣（喫煙の有無など）等、様々な要因が絡み合ってくると考えられます。実態をつかんでいないためその原因はつかみきれないのでどこまで有効なフォローができるか大変難しいですが、妊娠中期を対象とした「マタニティサロン」の参加率の向上を図り、周産期のさまざまな合併症の予防や精神的なサポートを行っていきたいと考えています。
- ・コストについては今後検証していきます。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



03 国民健康保険の充実（市町村国保事業：データ提供 65 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09 年平均
基本	高齢化率	25.8%	26.2%	25.6%	58.7	++	22.4%	31.4%	15.7%	23.1%
	被保険者率（全人口対比）	30.0%	30.3%	29.3%	56.7	++	27.2%	35.6%	21.5%	27.8%
	被保険者の構成（09 年数値）	一般 92.4% (93.6%)・退職 7.6% (6.4%)				平均 一般 93.3% (94.1%)・退職 6.7% (5.9%)				
結果	従事職員 1 人あたり被保険者数	1,102 人	1,089 人	1,060 人	41.2	—	1,559 人	3,096 人	623 人	1,540 人
	従事職員の構成比率（09 年数値）	正規 88.2% (88.2%)、嘱託・臨時・再任用等 11.8% (11.8%)				平均 正規 71.3% (72.3%)、嘱託・臨時・再任用等 28.3% (27.7%)				
成果	被保険者 1 人あたり給付金（全体）	191,635 円	199,472 円	204,569 円	39.0	—	240,284 円	346,564 円	204,569 円	231,839 円
	被保険者 1 人あたり給付金（一般）	182,370 円	198,242 円	204,168 円	40.2	—	237,648 円	353,519 円	199,592 円	227,507 円
	被保険者 1 人あたり給付金（退職）	383,572 円	217,317 円	209,411 円	27.0	突出値	282,628 円	372,750 円	190,228 円	284,063 円
コスト	被保険者 1 人あたり保険料収入		89,374 円	96,601 円	59.3	++	87,334 円	113,699 円	66,176 円	86,687 円
	保険料徴収率（収入済額／見込額）		102.9%	101.4%	55.9	++	96.0%	112.8%	60.9%	97.5%
	被保険者 1 人あたり決算額	321,252 円	328,876 円	333,459 円	42.9	—	362,285 円	500,377 円	312,156 円	356,164 円
	予算に対する決算の比率		99.0%	96.3%	41.4	—	99.2%	106.6%	89.5%	98.6%
	被保険者 1 人あたり一般会計からの繰入額	18,011 円	17,947 円	20,669 円	42.4	—	27,933 円	57,269 円	12,564 円	26,107 円
	歳入に占める保険料の割合		27.2%	29.0%	60.3	+++	24.7%	37.2%	13.6%	24.6%
	歳入に占めるその他収入の割合		67.4%	64.8%	44.2	—	67.6%	79.5%	53.5%	67.9%
	一般会計からの繰入率	5.6%	5.5%	6.2%	44.4	—	7.7%	17.8%	3.8%	7.2%
	繰入金に占める法定分割合		100.0%	100.0%	60.7	+++	70.7%	100.0%	0.0%	69.8%
	繰入金に占める負担軽減分割合		0.0%	0.0%	38.0	—	27.7%	85.6%	0.0%	27.1%

■ネットワーク会議コメント 08 年度まで遡って比較すると、全国平均レベルで、被保険者 1 人あたり給付金・決算額、一般会計からの繰入率が確実に増えていることが分かります（給付金（全体）221,399 円→231,839 円→240,284 円、決算額 341,398 円→356,164 円→362,285 円、繰入率 7.0%→7.2%→7.7%）。望ましい傾向とは言えない中で、南魚沼市は、給付金を抑えて、被保険者 1 人あたり保険料収入を高く維持しながら、年々少しずつ増えているとはいえ、決算額、一般会計からの繰入額・繰入率を低く抑え続けています。工夫・努力した運営がなされていると見られます。

◆担当課コメント 国保が負担する被保険者の医療費や後期高齢者医療の負担、介護保険の負担は年々増加の傾向が続いています。特定健診や特定健康指導を受診し、日頃から自己の健康管理に関心を持つことによって、高齢者になったときの医療費等の抑制につながります。ひいては国保税の負担軽減につながることになります。また、保険料(税)徴収率は、100%を超え予算額は確保されていますが、国保税の収納率は決して高くないため加入者の協力により収納率が上がることが負担の軽減にもつながります。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



04 保育サービスの充実（保育所運営：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均	
基本	要保育児童率（全人口対比）	3.22%	3.24%	3.31%	71.3	突出値	1.97%	3.57%	0.84%	1.93%	
	通常保育時間			8時間	最頻時間は8時間（最長時間は12時間、最短時間は8時間、単純平均では9時間強）						
	通常開園時間			7:30	最頻時刻は07:30（回答57市町中38.6%）で、08:30（19.3%）、08:00（17.5%）の順						
	平日通常閉園時間			19:00	17:00（10.5%）18:00（19.3%）19:00（15.8%）とばらつき、極端なピークはない						
	土曜日通常閉園時間			19:00	平日と同時刻が22市町で回答57市町の38.6%占めるが、他は平日よりも早い。						
	市立保育所児童受入率	80.2%	81.1%	80.1%	62.2	+++	44.7%	100.0%	0.0%		
サービス提供の実態（市立・民間比較）							サービス提供の平均値				
結果	保育所単位の実施率	市立（08・09数値）		民間（08・09数値）		総合（08・09数値）		市立（09年）	民間（09年）	総合（09年）	
	ゼロ歳児保育実施保育所率	40.9%（40.9・40.9）		80.0%（80.0・80.0）		48.1%（48.1・48.1）		73.7%（70.0%）	95.0%（94.4%）	82.7%（81.1%）	
	延長保育実施保育所率	45.5%（45.5・45.5）		100.0%（100.0・100.0）		55.6%（55.6・55.6）		64.0%（62.7%）	91.3%（89.1%）	78.3%（76.9%）	
	障害児保育実施保育所率	100.0%（100.0・100.0）		100.0%（100.0・100.0）		100.0%（100.0・100.0）		83.5%（82.3%）	67.1%（69.1%）	73.7%（75.7%）	
成果	待機率（待機率ゼロ都市50.0%）	0.0%	1.0%	0.0%	待機児童0都市46.2%		3.1%	10.7%	0.00%	4.9%	
	サービス利用の実態（市立・民間比較）							サービス提供の平均値			
		市立（08・09数値）		民間（08・09数値）		総合（08・09数値）		平均市立（09年）	平均民間（09年）	平均総合（09年）	
	従事職員1人あたり保育児童数	5.2人（5.7・5.3）		3.6人（3.7・3.6）		4.8人（5.1・4.9）		5.1人（5.3人）	4.8人（4.9人）	5.0人（5.1人）	
	保育士1人あたり保育児童数	6.0人（6.6・6.3）		5.0人（5.2・4.8）		5.8人（6.3・5.9）		6.5人（6.8人）	6.3人（6.5人）	6.4人（6.6人）	
実質充足率	83.8%（82.5・82.6）		111.0%（108.8・102.7）		88.1%（86.7・85.8）		95.8%（96.0%）	111.3%（111.4%）	104.3%（104.7%）		
コスト	保育児童1人あたりコスト（市立）	1,082,398円	1,113,732円	1,087,594円	40.6	—	1,230,591円	2,972,000円	377,897円	1,171,693円	
	保育児童1人あたりコスト（民間）	1,021,128円	1,068,835円	1,054,047円	48.5	標準的	1,098,132円	2,188,835円	746,961円	984,886円	
	保育児童1人あたりコスト（総合）	1,070,273円	1,105,254円	812,649円	40.1	—	1,124,692円	2,004,852円	664,155円	1,074,972円	
	保護者負担	226,462円	228,006円	215,404円	48.8	標準的	220,155円	348,788円	152,490円	228,872円	
	保護者負担率	21.2%	20.6%	26.5%	60.4	+++	20.7%	34.1%	9.1%	22.1%	

■ネットワーク会議コメント 全国平均レベルで見て、従事職員1人あたり保育児童数・保育士1人あたり保育児童数・実質充足率に象徴されるサービス水準は、ほとんどの設置・運営携帯でも、09年に比べて明らかに改善されている中で、南魚沼市は、市立保育所中心の体制で、コストを抑えながら、充実した保育環境で待機率ゼロを維持しています。提供データによる限り、ベスト・プラクティス都市の一角を占めると見られます。

◆担当課コメント

就学前児童数は減少傾向なもの、要保育児童率については、年々上昇しており、最近の社会経済情勢などの動向を踏まえると、なお当分の間、保育需要は増加するものと考えられます。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



05 学童保育サービス (放課後児童健全育成事業: データ提供 58 市町)

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均	最大値	最小値	09 年平均
基本	学童保育対象上限学年	6 学年	6 学年	6 学年	6 学年タイプ 50.0% (53.7)、3 学年タイプ 39.7% (40.3)、4 学年タイプ 6 市 10.3% (6.0)					
結果	市要綱等による開設時間	平日終了 19:00、学校休業日 8:30~19:00			平日終了 18 時代 63.0%・19 時代 25.9%、休業開始 8 時代 82.7%、休業終了=平日同 92.5%					
	設置・運営形態の構成比	公設公営	/	0.0%	0.0%	/	49.1%	100.0%	0.0%	46.5%
		公設民営	/	84.6%	84.6%	/	34.5%	100.0%	0.0%	36.0%
		民設民営	/	15.4%	15.4%	/	16.5%	100.0%	0.0%	17.5%
	小学校数に対する開設率	65.0%	65.0%	65.0%	36.5	—	119.8%	275.0%	31.1%	105.4%
指導員に対する研修の有無	/	有	有	回答 56 市町中、「有る」52 市町 93.2%、09 年度 94.0%・08 年度 94.2%						
成果	当該学年児童に対する学童保育実施率	12.4%	12.2%	12.9%	43.3	—	18.2%	41.8%	6.4%	17.8%
	設置・運営形態別サービス比較	南魚沼市 (09 年数値)				全国平均値 (09 年数値)				厚労省
		公設公営	公設民営	民設民営	総施設	公設公営	公設民営	民設民営	総施設	ガイドライン
	1 施設あたり保育学童数	人 ()	32.4 人 (30.4)	40.0 人 (46.0)	33.5 人 (32.8)	44.6 人 (44.7)	36.3 人 (38.6)	32.2 人 (32.7)	41.5 人 (42.2)	40 人以下
	指導員 1 人あたり保育学童数	人 ()	10.8 人 (10.1)	10.0 人 (15.3)	10.6 人 (12.9)	11.9 人 (11.2)	11.3 人 (10.0)	9.1 人 (8.4)	10.6 人 (10.3)	/
	保育学童 1 人あたり保育スペース	m ² ()	4.81 m ² (3.64)	2.85 m ² (2.48)	4.45 m ² (3.39)	2.08 m ² (2.82)	3.47 m ² (3.58)	3.65 m ² (3.65)	2.43 m ² (2.88)	1.65 m ² 以上
学童保育従事市職員構成比	正規 100% (100.0%)、嘱託・臨時・再任用等 0% (0.0%)				平均 正規 49.9% (52.1%)、嘱託・臨時・再任用等 50.1% (47.1%)					
コスト	保育学童 1 人あたりコスト (公設公営)	円	円	円			143,794 円	356,040 円	22,736 円	139,756 円
	保育学童 1 人あたりコスト (公設民営)	154,659 円	172,275 円	169,581 円	54.7	+	132,866 円	390,643 円	0 円	111,290 円
	保育学童 1 人あたりコスト (民設民営)	91,874 円	98,533 円	122,238 円	50.8	標準的	116,425 円	272,497 円	0 円	128,694 円
	保育学童 1 人あたりコスト (総施設)	140,448 円	156,350 円	160,897 円	53.1	+	138,009 円	369,230 円	20,258 円	113,706 円
	保護者からの預かり金等の割合	/	35.0%	29.5%	52.0	標準的	25.7%	84.0%	0.0%	24.7%

■ネットワーク会議コメント 全国平均レベルで見て、1 施設あたり保育学童数・指導員 1 人あたり保育学童数・保育学童 1 人あたり保育スペースに象徴されるサービス水準は、ほぼどの設置・運営形態でも、09 年に比べて悪くなっていると言わざるをえない中で、南魚沼市は、公設民営体制を中心に、全学年タイプの学童保育が、標準的なコストで行われています。施設環境も好ましい状況にあり、問題は少ないと見られます。

◆担当課コメント

小学校に対する開設率については、複数の小学校を受け入れる学童保育クラブを設置し、全ての小学校に対応しています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



06 介護保険制度の適正な運用（高齢者介護サービス：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均	最大値	最小値	09年平均
基 結果	高齢化率	25.8%	25.9%	25.6%	58.7	++	22.5%	31.4%	15.7%	23.0%
	要介護・要支援認定者率	4.32%	4.36%	4.60%	58.7	++	3.73%	7.00%	1.94%	3.69%
	従事職員1人あたり要介護・要支援認定者数	108人	112人	105人	41.1	—	215人	691人	50人	205人
	従事職員の構成比（09年数値）	正規 92.6% (91.2%)、嘱託・臨時・再任用 7.4 等% (8.3%)				平均 正規 64.8% (66.1)、嘱託・臨時・再任用等 34.5% (33.9)				
成 果	在宅介護率	61.6%	61.4%	60.1%	50.3	標準的	60.0%	68.0%	49.1%	59.7%
	在宅介護施設定員に対する在宅介護者率	2.73倍	2.69倍	2.68倍	47.1	—	2.92倍	5.58倍	1.71倍	2.92
	在宅介護者1人あたり在宅介護サービス給付金	1,196,118円	1,241,969円	1,245,374円	55.4	++	1,167,165円	1,562,061円	842,425円	1,130,320円
	地域密着型介護率	7.8%	8.0%	9.7%	68.2	+++	5.6%	12.2%	2.3%	5.1%
	地域密着型施設定員に対する地域密着型サービス	2.13倍	2.19倍	1.80倍	52.2	標準的	1.67倍	3.58倍	0.64倍	1.57倍
	地域密着型介護者1人あたり地域密着型サービス	2,059,675円	2,126,042円	2,018,536円	41.5	—	2,297,844円	2,954,969円	1,294,820円	2,311,261円
	施設介護率	18.9%	19.1%	17.6%	51.4	標準的	17.2%	25.0%	12.3%	17.8%
	施設介護施設定員に対する施設介護者率	2.13倍	0.97倍	0.85倍	44.9	—	0.93倍	1.17倍	0.49倍	0.95倍
	施設介護者1人あたり施設介護サービス給付金	2,059,675円	3,118,300円	3,252,930円	55.4	++	3,163,621円	3,626,630円	2,791,032円	3,139,016円
コ ス ト	要介護・要支援者1人あたり換算保険料収入		312,474円	293,087円	50.3	標準的	292,036円	384,131円	190,088円	297,854円
	保険料徴収率（収入済額／見込額）		99.5%	99.4%	48.5	標準的	99.7%	106.7%	95.0%	100.9%
	予算額に対する決算の割合	99.8%	99.8%	99.6%	52.3	標準的	99.0%	108.2%	90.0%	99.5%
	歳入に占める保険料の割合		17.6%	16.5%	41.5	—	18.6%	24.1%	13.2%	18.8%
	要介護・要支援認定者1人あたり決算額	1,713,487円	1,722,970円	1,776,542円	63.4	+++	1,574,699円	1,957,477円	1,210,962円	1,580,108円
	要介護・要支援認定者1人あたり一般会計からの	250,384円	256,417円	251,581円	59.8	++	226,402円	275,983円	169,468円	229,800円
一般会計からの繰入率	14.6%	14.5%	14.2%	48.3	標準的	14.3%	16.8%	11.8%	14.5%	

■ネットワーク会議コメント 08年度まで遡って比較すると、全国平均レベルで、要介護・要支援認定者率は確実に増加しているの対し（3.41%→3.69%→3.73%）、要介護・要支援認定者1人あたり決算額・一般会計からの繰入額・繰入率はほぼ一定で、各市町が努力・工夫を図っている様子が伺える中、南魚沼市は、高齢化率が高い分、要介護・要支援認定者率も高い中で、地域密着型サービスの割合を高める介護環境を形成し、そのことによって給付金全体を下げようとしている努力が見られますが、要介護・要支援認定者1人あたり決算額はなお高く、一般会計からの繰入額も高いままで、工夫・努力が見えてくるにはなお時間がかかりそうです。その経過を理解いただく努力が必要かもしれません。

◆担当課コメント 11年度末では、更に高齢化が進み（26.2%）、要介護・要支援認定者率も5.03%と大幅に伸びていますが、認定者の中では要介護1~2の方が目立って増加しています。12年度以降の第5期計画では特養70床、ミニ特養29床の整備を進めるとともに地域密着型小規模多機能型居宅介護を整備する計画です。したがって今後施設介護利用者が増加しますが、軽度者需要に対応した在宅介護利用者数がそれを上回るようになると考えられます。給付金の増加は不可避であり一般会計繰入金も伴って上昇します。繰入率が高いのは、正規職員率が92.6%と非常に高いことに原因がありますが、困難事例が増加していることから直営体制は堅持していく考えです。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



07 身近なスポーツ活動の振興（市立スポーツ施設管理運営事業：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均	最大値	最小値	09年平均	
市立スポーツ施設の種類と数（09年）											
	屋外競技場	屋内競技場	体育館	プール	野球場	庭球場	ゴルフ場	サッカー場等	スキー場	スケート場	武道場その他
南魚沼市の数	15 (15)	1 (1)	9 (9)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
有している都市の率	86.2% (83.5)	24.1% (23.9)	98.3% (97.0)	89.6% (83.6)	82.8% (79.1)	93.1% (91.0)	8.6% (7.5)	34.5% (29.9)	8.6% (10.4)	6.9% (6.0)	74.1% (79.1)
1市あたり平均数	6.5 (5.7)	0.3 (0.3)	4.4 (4.2)	2.0 (1.9)	3.8 (3.4)	4.9 (3.5)	0.1 (0.1)	0.7 (0.6)	0.1 (0.2)	0.2 (0.1)	2.6 (2.9)
1市あたり最大数	30 (27)	3 (3)	12 (16)	6 (6)	32 (32)	68 (14)	2 (2)	6 (6)	3 (3)	5 (5)	18 (20)
基本	指定管理者制度の導入	87.9%	68.6%	68.6%	全部導入 19.0%、一部導入 60.3%			09年全部導入 22.3%、一部導入 56.7%			
	1施設あたり平均サービス人口	1,890人	1,768人	1,760人	41.4	—	8,472人	32,268人	907人	6,708人	
	市民1人あたり施設面積（スキー場・ゴルフ場を除く）	3.84㎡	4.11㎡	4.13㎡	57.0	++	2.63㎡	8.30㎡	0.22㎡	2.42㎡	
結果	配置職員1人あたり平均サービス人口	6,930人	6,187人	5,601人	48.7	標準的	6,630人	53,453人	705人	5,847人	
	職員構成（09年）	正規 63.6% (60.0) 嘱託等 0.0% (0.0) 指定管理者職員 36.4% (40.0)				平均	正規 24.2% (18.5)、嘱託等 17.5% (21.0)、指定職員 58.4% (57.3)				
成果	利用者率	496.2%	483.2%	496.0%	53.1	+	417.2%	1,558.8%	0.0%	440.8%	
	市民100,000人あたり統合型スポーツクラブ数		1.6	1.62	48.7	標準的	1.91	10.35	0.00	0.26	
	市人口に占める統合型スポーツクラブ加入者率		5.2%	9.2%	73.1	突出値	2.0%	14.4%	0.0%	1.9%	
コスト	利用者1人あたり管理運営コスト	237円	240円	241円	42.0	—	498円	1,630円	0円	416円	
	市民1人あたり管理運営コスト	1,176円	1,159円	1,195円	43.5	—	2,094円	6,858円	30円	1,920円	
	利用者1人支出額	126円	125円	118円	51.3	標準的	98円	1,134円	0円	76円	
	管理運営総事業費に対する利用者支出額の割合	53.2%	52.2%	48.8%	67.5	+++	21.0%	73.7%	0.0%	21.2%	

■ネットワーク会議コメント 全体的な数値変化は少なく、施設としての整備は一段落し活用が課題となっていることが一層鮮明になってきたと見られる中で（全国平均レベルで、統合型スポーツクラブの数が増えています、加入者率は変化がないので、数え方の違いかもしれません）、南魚沼市は、施設数は多いものの、コストを抑えた施設提供を図っている様子が伺え、利用者率も高いものがあります。市人口に占める統合型スポーツクラブ加入者率が高いことも特徴的で、望ましい運営状況にあると見られます。

◆担当課コメント 12年～14年、大原運動公園整備1期工（野球場、多目的グラウンド）15年～2期工（屋根付グラウンド、遊びの広場）の整備が終了すれば利用者増が見込めますが、他の体育施設は老朽化が進み維持管理費が増大し、利用者に十分な状態でない施設提供となっていることが悩みとなっています。

主に高齢者のスポーツ活動であるゲートボール人口は減少していますが、代わってグランドゴルフ人口が増加していることは保健・医療の分野にとっても好ましいと考えられます。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



08 図書館サービスの充実（図書館サービス：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

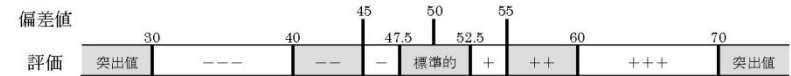
指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09 年平均
基本	図書館数（1 館か複数館か）（09 年）		1	1	回答 58 市町のうち、1 市 1 館 25 市町 43.1%（40.3%）					
	図書館協議会の設置（09 年）		無	無	回答 58 市町のうち、図書館協議会設置都市 48 市 82.8%（76.7%）					
	指定管理者制度の導入（09 年）		有	有	回答 58 市町のうち、指定管理者導入都市 6 市 10.3%（11.9%）					
	1 館あたり平均サービス人口	62,373 人	61,870 人	61,612 人	48.3	標準的	70,506 人	258,829 人	3,264 人	64,753 人
配置職員 1 人あたり平均サービス人口	31,187 人	30,935 人	30,806 人	110.8	突出値	5,264 人	30,806 人	1,484 人	4,572 人	
職員構成比（09 年）	正規職員 0.0%（0.0）、嘱託等 0.0%（0.0）、指定職員 100.0%（100.0）				平均 正規 33.2%（34.9）、嘱託等 33.2%（55.6）、指定職員 19.4%（8.9）					
結果	1 館あたり配置職員数	2.0 人	2.0 人	2.0 人	36.7	—	15.0 人	44.5 人	2.0 人	13.3 人
	配置職員に占める司書有資格者率	100.0%	100.0%	100.0%	74.2	突出値	44.8%	100.0%	0.0%	45.6%
	市民 1 人あたり蔵書・ソフト数	1.5 点	1.6 点	1.75 点	38.1	—	3.1 点	7.5 点	1.0 点	3.0 点
	市民 10,000 人あたり蔵書等年間増加数		49 点	141 点	50.5	標準的	133 点	1,316 点	-148 点	97 点
成果	利用者（入館者）率	79.3%	76.2%	%			321.2%	853.3%	145.6%	292.3%
	貸出者率（外れ値除く）	45.3%	42.8%	%			152.9%	336.8%	57.5%	138.4%
	全利用者に占める貸出者割合	57.1%	56.2%	%			49.6%	100.0%	24.1%	48.1%
	市民 1 人あたり年間図書等貸出数	1.5 点	1.5 点	1.5 点	32.4	—	5.2 点	10.4 点	0.6 点	5.3 点
コスト	貸出者 1 人あたり管理運営コスト	477 円	529 円	531 円	38.4	—	1,108 円	2,979 円	526 円	995 円
	市民 1 人あたり管理運営コスト	216 円	227 円	234 円	31.0	—	1,426 円	3,393 円	234 円	1,359 円
	市民 1 人あたり図書購入費		60 円	60 円	39.0	—	224 円	915 円	51 円	195 円

■ネットワーク会議コメント 08 年度まで遡って比較すると、全国平均レベルで、利用者（入館者）率・貸出者率ともに増加傾向にある中で（利用者率 282.0%→292.3%→321.3%、貸出者率 134.9%→138.4%→152.9%。他の項目は、出入りはあるものの変化は少ないと見られます。また、他のスポーツ・社会教育指標の利用者率の変化が少ない中で、図書館利用者率の増加傾向は特筆されます）、南魚沼市は、1 市 1 館体制ですが、職員配置、蔵書・ソフト数等、低い数値にあります。市民 10,000 人あたり蔵書等年間増加数が標準的な数値になっているなどの改善が見られますが、市民 1 人あたり図書購入費自体は低く、目に見える改善として市民に写っているかはなお不透明です。

◆担当課コメント

職員配置・蔵書等低い数値にあることは認識しています。新図書館の建設（平成 26 年開館予定）に合わせて、各項目の改善を図りながら市民サービスの向上を目指します。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



09 公民館活動の充実 (公民館活動: データ提供 58 市町)

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考	
基本	公民館運営審議会の設置		有	有	回答 58 市町中、公民館運営審議会設置 40 市町 69.0% (08年 67.9%・09年 70.1%)						
	社会教育委員会議の設置		有	有	回答 58 市町中、社会教育委員会議設置 49 市町 84.5% (08年 78.2%・09年 86.6%)						
	指定管理者制度の導入		無	無	回答 58 市町中、指定管理者導入 7 市町 12.1% (08年 11.5%・09年 11.9%)						
	地区(地域住民)管理の導入		無	無	回答 58 市町中、地区管理導入 7 市町 12.1% (08年 14.1%・09年 14.9%)						
	他機能兼務の導入		無	無	回答 58 市町中、他機能兼務導入 31 市町 53.4% (08年 57.7%・09年 55.2%)						
	他機能内実			その他	回答 43 市町中、社会教育 10 市町 23.3%・行政機能 21 市町 48.8%						
	1館あたり平均サービス人口	6,167 人	6,187 人	6,161 人	1万人タイプ	23,142 人	210,426 人	1,809 人			
(09年数値) 1万人未満 28市 48.3% (46.3%)、1~2万人 11市 19.0% (22.4%)、2万人以上 19市 32.8% (31.3%)											
結果	公民館 1館あたり小学校数	2.0 校	2.0 校	2.0 校	中学校区タイプ	2.9 校	24.0 校	0.4 校			
	公民館 1館あたり中学校数	0.6 校	0.6 校	0.6 校		1.5 校	18.0 校	0.1 校			
	(09年数値) 小学校区タイプ 20市 34.5% (38.3%)、中学校区タイプ 23市 39.7% (41.8%)										
	1館あたり職員数	1.5 人	1.5 人	1.5 人	43.7	—	5.5 人	76.1 人	0.2 人		
	職員構成比 (09年)	正規 73.3% (73.3)、嘱託等 26.7% (26.7)、指定職員 0.0% (0.0)				平均	正規 38.2% (39.4)、嘱託等 52.9% (51.9)、指定職員 9.0% (7.2)				
職員に占める社教主事有資格者率	20.0%	0.0%	0.0%			6.6%	68.8%	0.0%	配置なし 24市 42.9%		
成果	利用者(入館者)率	169.4%	216.7%	219.5%	47.9	標準的	246.2%	532.0%	14.1%	09年平均 239.0%	
	事業構成比 (09年)	公民館主催 100.0% (100.0) 団体・地域 0.0% (0.0) その他 0.0% (0.0)				平均	主催 21.0% (20.4) 団体・地域 64.4% (67.5) その他 12.0% (10.3)				
	利用者構成 (09年)	公民館主催 32.3% (44.4) 団体・地域 60.6% (52.4) その他 7.1% (3.1)				平均	主催 19.9% (17.6) 団体・地域 63.7% (68.0) その他 13.8% (12.7)				
コスト	利用者 1人あたり管理運営コスト	1,110 円	866 円	848 円	49.9	標準的	851 円	3,406 円	295 円	09年平均 826 円	
	市民 1人あたり管理運営コスト	1,881 円	1,876 円	1,862 円	49.5	標準的	1,923 円	5,765 円	68 円	09年平均 1,494 円	

■ネットワーク会議コメント 全体的な変化は少なく、施設・活用ともに安定していると見られる中で、他機能兼務の実態をお尋ねしたところ、地域の窓口を兼ねた諸証明発行等の行政機能が半数となり、図書館や資料館等の他の社会教育機能は4分の1程度であることが分かりました。学びを通じた住民自治・地域づくり拠点としての機能が伺えるわけですが、その中で、南魚沼市は、かなり手厚い施設配置を行っています。しかし職員配置は1館あたり1.5人で、かつ4分の3が嘱託等ですから、実際は1人の正規職員がいるという形と見られます。利用者率は標準的で、コストも標準的です。事業構成比と利用者構成比とに齟齬が見られます。再確認が必要と見られますが、公民館の位置づけについての議論が必要になっているかもしれません。

◆担当課コメント

各地区の分館(市職員の配置なし)7施設を加えた数を計上したため、1館あたりの職員数が少数となっています。また、嘱託等は15人中4人で、4分の3ではなく4分の1となります。事業構成比と利用者構成比の齟齬は、詳細な区分分けをしなかったことが原因です。今後も市民の要望に応えながら、誰でも参加できる事業を実施します。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



10 芸術文化活動学習機会の充実（文化会館事業：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評 価	全国平均値	最大値	最小値	09 年平均
基本	文化会館数（1 市 1 館か複数館か）	1	1	1	58 市中、1 市 1 館 26 市 42.9%、1 市複数館 31 市 55.4%、なし 1 市 1.8%					
	指定管理者制度の導入	100.0%	100.0%	100.0%	58 市中、全施設導入都市 30 市 47.7%、一部導入都市 12 市 18.5%、なし 22 市 33.8%					
結果	市民 10,000 人あたり文化会館等座席数	198	200	201	51.9	標準的	179	511	22	203
	職員 1 人あたり平均サービス人口	12,475 人	12,374 人	12,322 人	51.2	標準的	11,302 人	41,093 人	1,835 人	9,318 人
	1 館あたり配置職員数	5.0 人	5.0 人	5.0 人	43.5	—	9.1 人	27.0 人	0.0 人	8.2 人
	職員構成比（09 年）	正規 0.0% (0)、嘱託等 0.0% (0)、指定職員 100.0% (100)				平均	正規 17.2% (28.9)、嘱託等 13.1% (19.9)、指定職員 65.9% (52.1)			
照明・舞台・音響等技術専門職率		40.0%	40.0%	40.0%	60.8	+++	18.0%	100.0%	0.0%	18.5%
成果	利用者率	156.2%	148.1%	132.4%	47.4	—	154.1%	50.2.4%	40.6%	159.2%
	入館者構成（09 年）	市・会館主催 30.5% (32.3) 市民団体 15.0% (14.5) その他 54.5% (53.3)				平均	市・会館 17.9% (19.3) 市民団体 48.3% (45.3) その他 34.1% (32.4)			
	座席回転率	78.8	74.1	66.0	43.7	—	101.3	282.0	28.8	96.3
コスト	利用者 1 人あたり管理運営コスト	474 円	524 円	576 円	41.9	—	1,081 円	2,797 円	99 円	948 円
	市民 1 人あたり管理運営コスト	741 円	775 円	762 円	43.1	—	1,561 円	5,636 円	45 円	1,312 円
	利用者 1 人あたり支出額	388 円	406 円	408 円	58.6	++	252 円	1,047 円	69 円	218 円
	管理運営費に対する支出額割合	81.8 円	77.5%	70.9%	76.8	突出値	26.9%	76.5%	3.3%	27.4%

■ネットワーク会議コメント 全体的な数値変化は少なく、施設としての整備は一段落し、活用、コスト・人員管理が課題となっていることが一層鮮明になってきたと見られる中で（正規職員・嘱託等が共に減り指定管理者職員比率が高まっていますが、一時的傾向かどうかを今後判断していく必要があります）、南魚沼市は、座席数等は標準的ですが、利用者率が低めの為、座席回転率は低くなっています。コストも抑えられていますが、多少コストをかけてでも利用者率、座席回転率を高める工夫が必要と見られます。

◆担当課コメント

09 年度より舞台改修工事が始まり冬季休館となったため利用者は減少しています。それでも 09 年度はNHK大河ドラマ「天地人」の関連イベントの利用で減少を抑えたのですが、10 年度はそれも終わったため減少がさらに進んだ結果となりました。利用率には反映されませんが、中学校・高等学校吹奏楽部等へ練習のための貸出が増えています。ホールでの練習が好成績の要因の一つとなっているのではないかと考えています。なお、10 年度には舞台音響設備改修、11 年度は舞台照明設備改修と老朽化した施設の改修を進め、舞台能力の向上を図っています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



11 芸術文化活動学習機会の充実（博物館・美術館事業：データ提供 57 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

基本	南魚沼市	利用者率 (成果)			市民 10,000 人あたり講座等						全国			市民 10,000 人あたり講						
		施設	08 年	09 年	10 年	開設回数			参加者数			利用者率			開設回数	参加者数				
						08 年	09 年	10 年	08 年	09 年	10 年	08 年	09 年	10 年			平均値	最大値	最小値	
総合系	0	%	%	%	回	回	回	人	人	人	33.1%	159.4%	3.3%	12.7 回	895 人					
歴・民系	2	148.2%	123.5%	124.0%	2.4 回	2.9 回	2.6 回	1,997 人	3,056 人	2,512 人	23.0%	248.0%	0.3%	2.6 回	423 人					
美術系	1	19.1%	24.5%	18.4%	2.4 回	2.9 回	2.6 回	1,915 人	2,447 人	1,839 人	77.2%	362.8%	2.8%	8.8 回	920 人					
自然系	0	%	%	%	回	回	回	人	人	人	84.3%	249.2%	2.3%	5.5 回	2,291 人					
その他	0	%	%	%	回	回	回	人	人	人	28.4%	78.0%	2.2%	2.0 回	669 人					
総施設	3	167.3%	148.0%	142.4%							43.8%	198.6%	2.7%							
指定管理者導入率		08 年 66.7%		09 年 66.7%		66.7%		回答 53 市中、全面導入 5 市 9.4%、一部導入 11 市 20.8%、導入なし 37 市 69.8%												
総施設に対して		08 年数値		09 年数値		南魚沼市数値		偏差値		評価		全国平均値		最大値		最小値		09 年平均		
結果	職員職員 1 人あたり平均サービス人口				8,839 人		8,802 人		44.8		—		16,765 人		78,517 人		1,161 人		17,748 人	
	職員構成比 (09 年)		正規 57.1% (42.9)、嘱託等 0.0% (14.3)、指定職員 42.9% (42.9)						平均		正規 25.7% (34.7)、嘱託等 43.7% (47.4)、指定職員 27.1% (14.7)									
コスト	配置職員に占める学芸員有資格者率		28.6%		28.6%		28.6%		配置なし 14 市町 26.9%		20.5%		100.0%		0.0%		26.2%			
	利用者 1 人あたり管理運営コスト		311 円		391 円		374 円		38.2		—		1,918 円		5,353 円		93 円		3,136 円	
	市民 1 人あたり管理運営コスト		521 円		579 円		533 円		48.3		標準的		634 円		2,619 円		10 円		997 円	
	利用者 1 人あたり支出額		120 円		132 円		132 円		50.1		標準的		130 円		979 円		0 円		129 円	
利用者 (受益者) 支出割合		38.5%		33.8%		35.3%		65.8		+++		9.7%		68.4%		0.0%		12.3%		

■ネットワーク会議コメント 施設の性格により利用者率や講座の開催回数・参加者数等に大きな違いがあり、それぞれ独自の運営が課題になっていますが、全体傾向として、文化会館同様、指定管理者職員の率が高くなっているようです。しかし文化会館以上に専門性が求められる施設だけに、専門性の担保と管理・運営のコスト管理が一層重要な課題となってきたと見られます。その中で、南魚沼市は、歴史・民俗系 2 館と美術系 1 館の体制にあり、歴史・民俗系は利用者率も高く、美術系は利用者率は高くないものの、ともに講座の開設等、積極的に進められている様子が伺えます。配置職員に占める学芸員有資格者率の高さが反映されていると見られます。また、投資コスト（市民 1 人あたり管理運営コスト）と利用者コスト（利用者 1 人あたり管理運営コスト）を比較すると、コスト・パフォーマンスは高いと言えます。歴史・民俗系と美術系の利用者率の違いはどこにあるのかの吟味を進めることで、さらなる改善効果が期待できます。

◆担当課コメント

今泉博物館は館外利用者数も利用者率に含まれているため実態と合わない結果となっています。11 年度から今泉博物館は商工観光施設への改修のため休館となり、新たにトミオカホワイト美術館が市へ移管されたため文化施設の体制がかなり変化することになります。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



12 都市交通基盤整備 (市道の維持・管理 : データ提供 58 市町)

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均
基本	都市計画区域構成比	市街化 0.0%・調整 0.0%・非線引 69.2%・区域外 30.8%			平均	市街化 23.4% (22.7) 調整 34.9% (32.4) 非線引 16.0% (17.3) 区域外 25.7% (27.5)				
	道路構実延長成比	市道 75.2%・都道府県道 17.5%・国道 7.3%			平均	市道 90.6% (87.9) 都道府県道 7.0% (8.9) 国道 2.4% (3.2)				
基本	市民 1 人あたり自動車登録台数	0.80 台	0.81 台	0.81 台	57.3	++	0.66 台	0.99 台	0.24 台	0.66 台
	市民 1 人あたり乗用車登録台数	0.53 台	0.53 台	0.53 台	54.6	+	0.48 台	0.64 台	0.17 台	0.44 台
結果	市道密度 (市道実延長/市域面積)	1.6 km/km ²	1.6 km/km ²	1.6 km/km ²	36.6	---	8.5 km/km ²	23.2 km/km ²	1.3 km/km ²	8.1 km/km ²
	市民 1 人あたり市道実延長	15.3m	15.5m	15.6m	56.5	++	10.3m	39.7m	1.4m	9.4m
	市道改良率 (市道実延長対比)	77.2%	77.4%	77.4%	59.4	++	59.4%	92.0%	1.2%	58.5%
	改良済み市道に対する歩道設置率	6.5%	6.5%	6.4%	41.7	---	17.0%	70.6%	0.0%	18.0%
	市道に対する自転車専用道等の設置率			0.0%	46.9	-	2.8%	45.1%	0.0%	
	改良済み市道に対する緑化率	%	0.0%	0.0%	43.4	---	5.3%	53.0%	0.0%	4.4%
成果	市民 10,000 人あたり交通事故発生件数	38.0 件	37.5 件	231.9 件	50.5	標準的	225.7 件	544.5 件	30.9 件	163.5 件
	回答事故件数における人身事故割合			13.5%			41.9%	100.0%	0.0%	
	市民 10,000 人あたり交通事故死傷者数	45.4 人	49.0 人	40.4 人	39.6	---	74.4 人	161.1 人	0.8 人	75.0 人
コスト	市民 1 人あたり道路橋梁事業費	16,886 円	14,849 円	14,776 円	62.0	+++	8,670 円	21,534 円	1,682 円	8,815 円
	道路橋梁費に占める維持費割合		19.6%	20.6%			37.1%	100.0%	0.0%	36.2%

■ネットワーク会議コメント 交通事故の内実を掘り下げるため、人身事故・物損事故の両事故の数をお聞きすることにしました。まだ人身事故だけの数値を出されている都市もありますが、全体の状況が見られるようになってきました。その中で、南魚沼市は、市民 1 人あたり自動車登録台数・乗用車登録台数は多いものの、市民 10,000 人あたり交通事故死傷者数はかなり低く抑えられています。冬季間の道路事情等を考えると、市民の交通安全に対する意識の高さを示しているとも言えますが、市道密度・市民 1 人あたり市道実延長に見られる広域拡散型の都市構造の中での高い市道改良率という施策の成果と見て良いのではないのでしょうか。

◆担当課コメント

- 歩道設置率および自転車専用道等の設置率が平均値を大きく下回っているのは、集落間の距離が離れておりかつ積雪地であるため設置が困難な路線が多いためです。
- 市道の緑化率が平均値を大きく下回っているのは、植樹帯を持つ都市計画街路のほとんどが県道である事と、積雪地のため緑化へのコストが割けないためです。
- 積雪地であるため除雪路線や消雪パイプ路線の割合が高く、その路線についての舗装整備は欠かせない事から、自ずと市道改良率も高くなっています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



13 消防・救急事業（消防・救急サービス：データ提供 55 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均
基本	消防署 1 署あたり人口・面積	30,835 人	30,935 人	30,806 人	43.9	—	54,388 人	177,773 人	9,950 人	49,642 人
	消防署 1 署あたり平均サービス面積	293 ㎥	292.5 ㎥	292.5 ㎥	62.1	+++	105.5 ㎥	892.6 ㎥	4.1 ㎥	110.4 ㎥
	消防団 1 分団あたり平均サービス人口	3,854 人	3,867 人	3,851 人	42.9	—	10,259 人	44,028 人	1,768 人	8,984 人
結果	消防署員 1 人あたり平均サービス人口	791 人	793 人	790 人	43.4	—	953 人	1,564 人	527 人	942 人
	消防署員に占める救急救命士比率	15.4%	15.4%	15.4%	45.8	-	17.8%	31.8%	0.0%	17.0%
	消防団員 1 人あたり平均サービス人口	26 人	26 人	26 人	38.8	—	316 人	1,202 人	26 人	292 人
	稼働している消防車 1 台あたり人口	1,370 人	1,375 人	1,369 人	40.7	—	3,224 人	11,627 人	636 人	3,088 人
	稼働している救急車 1 台あたり人口	20,557 人	20,623 人	20,537 人	45.0	-	26,534 人	59,844 人	8,161 人	21,195 人
救急車に占める高規格救急自動車割合	100.0%	100.0%	100.0%	54.7	+	92.0%	回答 53 市中 100%41 市 77.4%			
成果	市民 10,000 人あたり火災発生件数	3.9 件	3.7 件	4.1 件	49.7	標準的	4.1 件	8.4 件	1.1 件	3.9 件
	市民 10,000 人当たり林野除く焼失面積		844.5 ㎡	1,219.7 ㎡	71.0	突出値	257.1 ㎡	2,300.8 ㎡	1.9 ㎡	192.4 ㎡
	市民 10,000 人当たり林野除く火災損害額		763,698 円	4,205,512 円	45.9	-	11,132,700 円	91,037,852 円	331,653 円	8,009,811 円
	市民 10,000 人あたり救急車出場件数	337.6 件	333.0 件	377.4 件	49.4	標準的	380.9 件	600.1 件	263.2 件	364.4 件
	救急車平均到着時間	9.4 分	10.3 分	9.7 分	62.0	+++	7.4 分	13.1 分	2.8 分	7.4 分
救急車平均搬送時間	分	29.4 分	29.9 分	59.6	++	24.1 分	37.7 分	14.6 分	26.0 分	
コスト	市民 1 人あたり常備消防費	12,133 円	13,123 円	9,746 円	46.7	-	10,839 円	23,259 円	1,744 円	10,978 円
	市民 1 人あたり消防団経費	2,758 円	2,155 円	3,053 円	36.7	—	1,013 円	3,053 円	136 円	1,059 円

■ネットワーク会議コメント 08 年度まで遡って比較して見ると、全国平均レベルで、市民 10,000 人あたり救急車出場件数は明らかに増加し、救急車平均到着時間も延着傾向が強まっていることに対し（出場件数 356.3 件→364.4 件→380.9 件、到着時間 6.9 分→7.4 分→7.4 分。搬送時間 23.8 分→26.0 分→24.1 分も増加傾向か）、消防署員に占める救急救命士比率（15.8%→17.0%→17.8%）、救急車に占める高規格救急自動車割合（88.6%→90.9%→92.0%）を着実に伸ばすことで、懸命の対策が講じられています。その中で、南魚沼市は、市民 10,000 人あたり火災発生件数・救急車出場件数は標準的ですが、救急車平均到着時間・搬送時間ともかなりの延着となっています。広域拡散型の都市構造ゆえの問題点でもありますが、消防署員に占める救急救命士比率を高める、手厚い公民館体制での AED 使用訓練・応急措置訓練の定例化などの施策との組み合わせが必要と見られます。

◆担当課コメント

救急車平均到着時間の延着について、管内全体で約 55% の地区別出動については全国平均ですが、約 45% 地区について 10 分を超えています。旧 2 町の中間に消防本署が位置しているため湯沢・大和（全国平均レベル地区 60%）に比して本署管内は全国平均レベル地区が 50% となっています。1 署で旧 2 町の面積を管轄しているため、地理的要因で遅延となっていると考えられます。なお、救急業務の高度化は推進しておりますし、AED の各地区への普及も図られ多くの住民が救急講習を受講しています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



14 安全・安心な水供給（水道施設整備・運営事業：データ提供 57 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均	最大値	最小値	09年平均
基本	自己保有水源率（自己水源水量／全水源水量）	100.0%	0.0%	0.0%			44.1%	100.0%	0.0%	53.2%
	水源構成（09年）	表流水 98.8% (98.8) 湧水 0.9% (0.9) 地下水 0.3% (0.3) 浄水受水 0.0% (0.0)				平均	表流水 28.7%・湧水 4.7%・地下水 24.4%・浄水受水 36.6%			
結果	全普及率（給水人口／全人口）	97.1%	98.1%	97.2%			97.0%	100.2%	72.4%	97.1%
	普及率の構成（09年）	水道 97.2% (97.2) 簡易水道 0.0% (0.9) 小水道 0.0% (0.0)				平均	水道 91.9% (91.6) 簡易水道 5.1% (5.3) 小水道 0.1% (0.1)			
	有効率（有効水量／年間総配水量）	81.7%	79.8%	82.8%	36.7	—	90.8%	100.0%	76.0%	90.4%
	漏水率	18.3%	20.2%	17.2%	63.6	+++	8.1%	23.8%	0.0%	8.9%
	配水池貯蓄能力		1.63	1.62	74.4	突出値	0.89	1.63	0.36	0.91
	施設利用率（1日平均配水量／1日給水能力）	32.8%	33.0%	33.3%	24.9	突出値	65.9%	100.6%	33.3%	64.1%
	職員1人あたり1日平均配水量	464,649 m ³	1,280 m ³	1,290 m ³	49.6	標準的	1,312 m ³	3,475 m ³	265 m ³	1,179 m ³
	職員1人あたり平均サービス人口		3,437人	3,423人	47.7	標準的	3,820人	9,156人	1,256人	3,503人
	職員法定資格取得度	1.00	1.17	1.06			0.67	4.11	0.00	0.66
	技術職員率	55.6%	55.6%	55.6%	53.0	+	45.1%	77.9%	0.0%	43.4%
成果	市民1人あたり管路延長		10.4m	10.6m	63.8	+++	6.5m	16.9m	2.1m	6.3m
	石綿セメント管比率		1.5%	1.5%	49.6	標準的	1.6%	12.2%	0.0%	1.4%
	有収率（有収水量／年間有効水量）			96.5%	48.7	標準的	97.4%	121.4%	62.3%	97.6%
コスト	水質不適合率（水質検査不適合回数／水質検査回数）	0.00%	0.00%	0.16%			回答 51 市中、水質基準不適合率 0.00% 47 市 92.2%			
	1人1日平均配水量	378L	383L	388L	53.5	+	359L	665L	187L	353L
	営業収支比率		93.6%	106.1%	43.0	—	115.9%	155.6%	91.0%	114.5%
コスト	総収支比率	109.3%	108.6%	117.1%	56.0	++	109.6%	158.0%	85.2%	106.2%
	固定負債比率（固定負債総額／総資本）		0.1%	0.1%	46.0	-	3.3%	43.3%	0.0%	7.8%

■ネットワーク会議コメント 指標としては安定してきたと見られますが（有収率は定義が一貫していなかったため 08・09 年度数値は揭示してありません）、その中で、南魚沼市は、有収率は標準的ですが、有効率は低くなっています。地盤沈下問題や融雪散水との関係などもあろうかと思いますが、漏水率を下げる必要があると見られます。水質不適合率が 10 年度はゼロではありませんでした。恒常化しない施策、対策が早急に必要と見られます。配水池貯蓄能力・施設利用率がともに突出値です。過剰投資になっていないか、そのことが経営上に上乗せになっていないかの吟味も必要と見られます。

◆担当課コメント

漏水が多いため有効率が低くなっていますので、漏水率を減らすために、計画的な漏水調査の実施を検討したい。建設当時の将来給水人口等の見込と現状が違うため配水池貯水能力・施設利用率がともに突出値となっており、経営を圧迫しています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



15 汚水処理施設整備・運営の推進 (汚水処理施設整備・運営事業: データ提供 55 市町)

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09 年平均
基本	汚水処理施設計画人口比	116.0%	117.0%	117.5%	59.8	++	100.7%	160.0%	49.2%	97.2%
	構成比	下水道 82.5%、集落排水 30.2%、合併浄化槽 3.1%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 84.4%、集落排水 5.2%、合併浄化槽 12.6%、コミプラ 0.5%					
	09 年	下水道 82.2%、集落排水 30.1%、合併浄化槽 4.7%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 79.6%、集落排水 6.2%、合併浄化槽 11.0%、コミプラ 0.4%					
結果	汚水処理施設整備人口比	86.9%	89.6%	92.1%	58.8	++	76.0%	100.2%	31.5%	76.4%
	構成比	下水道 67.5%、集落排水 21.5%、合併浄化槽 3.1%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 60.7%、集落排水 3.4%、合併浄化槽 11.5%、コミプラ 0.3%					
	09 年	下水道 65.0%、集落排水 21.6%、合併浄化槽 3.0%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 59.7%、集落排水 4.1%、合併浄化槽 12.1%、コミプラ 0.5%					
	技術職員率	56.3%	60.0%	60.0%	54.3	+	50.0%	88.9%	0.0%	53.6%
	BOD 法定試験水質基準遵守率	100.0%	100.0%	100.0%			回答 40 市中、100.0%回答都市 36 市 90.0% (90.7)			
成果	汚水処理施設使用人口比	67.9%	70.2%	72.6%	51.4	標準的	69.9%	100.0%	31.3%	69.1%
	構成比	下水道 49.6%、集落排水 19.9%、合併浄化槽 3.1%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 54.2%、集落排水 2.8%、合併浄化槽 12.6%、コミプラ 0.3%					
	09 年	下水道 47.4%、集落排水 19.9%、合併浄化槽 3.0%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 52.7%、集落排水 3.2%、合併浄化槽 12.6%、コミプラ 0.4%					
	下水道有収率	90.3%	87.5%	89.0%	53.5	+	83.0%	113.7%	3.2%	85.9%
	BOD 目標水質達成率	100.0%	100.0%	100.0%			回答 28 市町中、100.0%回答 28 市町 100.0% (85.2)			
コスト	4 事業合算汚水処理原価	583 円	791 円	496 円	55.9	++	343 円	1,327 円	66 円	363 円
	下水道経費回収率 (対総額)	31.5%	22.3%	39.4%	45.7	-	63.7%	368.2%	0.0%	56.6%

■ネットワーク会議コメント 提供データの範囲内ですが、いただいたデータを 08 年度まで遡って比較したところ、全国平均レベルで、4 事業合算汚水処理原価は減少傾向を示し (417 円→363 円→343 円)、下水道経費回収率 (対総額) は増加傾向を示しています (48.4%→56.6%→63.7%)。経営が安定に向かっている証拠と見られますが、その中で、南魚沼市は、下水道と集落排水を組み合わせて、高い汚水処理施設整備人口比を示しています。比べると、下水道を中心に汚水処理施設使用人口比は低いと言わざるをえません。当面、施設整備の拡大以上に繋ぎ込みに力を注ぎ、使用人口比を高めることが効果・効率的と見られます。4 事業合算汚水処理原価が高いため、有収率も高めですが、下水道経費回収率 (対総額) は低めとなっています。原価の吟味も必要な時期となっていると見られます。

◆担当課コメント

平成 27 年度を完了目標とし現在も汚水処理施設整備人口が増加しているのに比して、汚水処理施設処理人口の伸びが低い現状です。この数値を高める対応策として、平成 24 年度より繋ぎ込みの促進を図るため 3 年間の接続促進事業補助金交付制度を始めました。また排水設備等改造資金融資の利子を全額補給とし繋ぎ込み促進の支援をします。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



16 ごみの減量・リサイクルの推進（ごみ収集・処分サービス：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均	
基本	ごみの分別種類	12	12	12			13 (12)	23 (27)	4 (0)		
	市民1人1日ごみ排出量(生活系)	638g	613g	604g	44.6	—	657g	914g	473g	655g	
	市民1人1日ごみ排出量(事業系)	463	388g	556g	83.3	突出値	245g	556g	808g	253g	
	市民1人1日ごみ排出量(総収集)	1,101g	1,001g	1,160g	69.4	+++	902g	1,160g	639g	907g	
	市民1人1日ごみ排出量(総排出)	1,127g	1,025g	1,185g	67.2	+++	963g	1,205g	723g	971g	
市民1人1日ごみ焼却量	971g	883g	997g	67.3	+++	751g	1,010g	433g	754g		
ごみ焼却施設の種類の	ガス化熔融・改変				58市中、焼却47市81.0% (82.1) 熔融6市10.3% (10.4) なし4市7.8% (7.6)						
結果	焼却施設余熱利用	温水	有	有	有		回答54市中、45市83.3% (77.6%)				
		水蒸気	有	有	有		回答54市中、25市46.3% (63.8%)				
		発電	有	有	有		回答54市中、28市51.9% (48.3%)				
		その他	無	無	無		回答54市中、6市11.1% (6.9%)				
成果	市民1人1日リサイクル量	159g	142g	203g	51.3	標準的	196g	300g	75g	195	
	リサイクル率	14.1%	13.9%	17.2%	44.8	—	20.9%	40.2%	7.0%	20.5%	
	リサイクルの構成比	直接資源化		14.6%	30.4%			30.6%			31.7%
		中間処理後再生		68.7%	57.2%			36.8%			35.9%
		集団回収		16.7%	12.4%			32.7%			32.5%
	市民1人1日最終処分量(直接埋立除く)	51g	45g	28g	36.4	—	93g	306g	15g	97g	
	最終処分場の数	1	1	1	58市中1施設34市58.6% (53.7) 複数施設15市25.9% (29.9) なし9市15.5% (16.4)						
最終処分場最長残余年数	15年	15年	15年	回答58市町中、10年未満21市町42.9% (42.9) 20年以上11市町22.4% (24.1)							
コスト	市民1人あたりごみ処理総コスト	17,983円	19,073円	13,884円	62.8	+++	10,204円	18,800円	1,073円	10,819円	
	市民1人あたりごみ処理手数料等	4,317円	4,088円	4,377円	72.3	突出値	1,681円	7,932円	267円	1,437円	
	手数料等市民負担率	24.0%	21.4%	31.5%	58.4	++	16.9%	105.6%	0.0%	14.6%	

■ネットワーク会議コメント 04年度以来、ごみ排出量は確実に減ってきましたが（総排出量で毎年30g減）下げ止まりとなり、リサイクル率は上げ止まり（20～21%）となったようです。その中で、南魚沼市は、生活系ごみはかなり減量されているものの、事業系ごみが非常に多いため、全体としての排出量は多く、熔融炉のため最終処分量は抑えられていますが、リサイクル率も低い数値となっています。コストはかなり高い数値です。

◆担当課コメント

11年度より一般家庭「容器包装プラスチック」の回収を始めました。一般的に家庭ごみの60%を占める容器包装には資源として再利用できるものが多く含まれています。再利用可能な容器包装を「きちんと分ける」ことで、リサイクルを可能にし、ごみの量を減らします。また、事業系のごみから廃プラスチックを排除し、産業廃棄物として処理をお願いしています。12年7月より産業廃棄物（木くず）の搬入を廃止し、産業廃棄物処理業者において適正処理を行います。事業系の多量ごみとしては、紙おむつ、農集汚泥、きのこの食品残渣の焼却処分を行っています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



17 情報公開の充実（公文書開示・広報サービス等：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

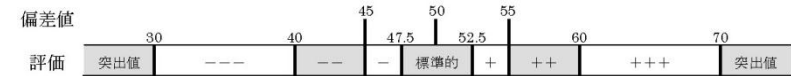
指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均	
基本	テレビ・ラジオでの定期情報提供の有無		有	有			回答 57 市町の中、「有」 45 市町 78.9% (77.6)				
	市民 10,000 人あたり公文書開示請求数	1.0 件	1.5 件	2.3 件			8.8 件	81.0 件	0.9 件	4.4 件	
結果	1 世帯あたり年間広報発行部数		27.3 部	27.1 部			19.2 部	34.6 部	10.1 部	19.0 部	
	月発行タイプ		2 回	2 回			1 回 24 市町 42.9% (39.7) 2 回 29 市町 51.8% (57.1) 3 回 2 市町 3.6% (3.2)				
	1 部あたり広報年間総頁数（特殊パターン除く）	524 頁	482 頁	540 頁	59.7	++	420 頁	672 頁	192 頁	403 頁	
	広報地域版の有無	無	無	無			回答 58 市町のうち、「有」 3 市町 5.4% (9.1)				
	ネット活用の実態	書式等のダウンロード			有			回答 58 市町のうち、「有」 58 市町 100.0%			
		施設予約			無			回答 58 市町のうち、「有」 36 市町 62.1%			
		電子申請			無			回答 58 市町のうち、「有」 45 市町 77.6%			
		電子入札			無			回答 58 市町のうち、「有」 38 市町 65.5%			
		ライブカメラ			無			回答 58 市町のうち、「有」 18 市町 31.0%			
	非開示率	16.7%	11.1%	0.0%	39.2	—	12.4%	40.8%	0.0%	12.4%	
	パブリック・コメントに付された案件数	0 件	1 件	6 件			5	18	0	9 件	
	広報業務従事職員 1 人あたりサービス人口	20,791 人	20,623 人	20,537 人			32,591 人	118,389 人	10,581 人	35,029 人	
広報業務従事職員構成比	正規 100.0% (100.0)、嘱託等 0.0% (0.0)						平均 正規 87.5% (89.7)、嘱託等 12.5% (10.3)				
成果	市民 1 人あたり市公式サイト・アクセス数（年間）	7.7 回	10.5 回	9.8 回			26.7 回	710.8 回	2.5 回	41.3 回	
	1 案件あたりパブリック・コメント意見数	件	2.0 件	15.0 件			44.6 件	1,486.0 件	0.0 件	57.3 件	
コスト	1 世帯あたり広報発行コスト	1,303 円	1,328 円	1,300 円	68.0	+++	677 円	1,647 円	274 円	781 円	
	1 部あたり広報発行コスト	48 円	49 円	48 円	55.4	++	37 円	92 円	11 円	44 円	

■ネットワーク会議コメント 市公式サイトへのアクセス数はカウントの違いもあって比較しにくいことから、ネット活用の実態をお聞きしました。書式等のダウンロードは全市町が、電子申請は 4 分の 3 が、施設予約と電子入札は 3 分の 2 の市町が行っていることが分かりました。また 08 年度まで遡って比較すると、全国平均レベルで、広報発行コストは、1 世帯あたりも 1 部あたりも着実に減っている様子が明らかになりました（1 世帯あたり 837 円→781 円→677 円。1 部あたり 47 円→44 円→37 円）。その中で、南魚沼市は、広報発行月 2 回体制で、情報量も多いため、発行コストは、1 部あたりも 1 世帯あたりも高くなっています。数値によれば、公文書開示制度、パブリック・コメント制度ともに定着してきたと見られます。施設予約等の実施で市公式サイトアクセス数を上げたいものです。

◆担当課コメント

月 2 回の広報発行体制・情報量の増加及び市外送付部数が多数あり、市報発行のコストダウンは図られていませんが、市政の周知・公開の質を落とすことなく、適正なコスト・情報量で発行します。今後も、広報紙・公式サイトによる広報体制とパブリックコメント・市政ポスト等による広聴体制の更なる充実に努めるとともに、公文書開示やパブリックコメントについては、引き続き制度の周知に努めます。また、ネットの活用方法の検討も行います。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



18 届出・証明交付の充実（届出・諸証明・税務証明交付事業：データ提供 56 市）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08 年数値	09 年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09 平均	
基本	在住外国人比率	%	%	1.18%	46.8	—	1.64%	8.77%	0.145	1.77%	
	1 窓口あたり平均サービス	20,791 人	20,623 人	20,537 人	44.4	—	37,664 人	160,907 人	6,555 人	38,501 人	
	1 窓口あたり平均サービス	20,791 人	20,623 人	20,537 人	48.4	標準的	23,184 人	81,507 人	2,985 人	21,927 人	
	1 窓口あたり平均サービス	20,791 人	20,623 人	20,537 人	45.5	—	31,414 人	109,585 人	2,985 人	30,934 人	
	市以外の機関への委託の有無（諸証明）	郵便局		無	無			回答 57 市町中、「有」7 市町 12.2% (9.1)			
		駅			無			回答 57 市町中、「有」1 市町 1.8%			
		その他		無	無			回答 56 市町中、「有」2 市町 3.6% (6.1)			
	市以外の機関への委託の有無（税務証明）	郵便局		無	無			回答 58 市町中、「有」6 市町 10.3% (9.1)			
		駅			無			回答 58 市町中、「有」1 市町 1.7%			
		その他		無	無			回答 58 市町中、「有」1 市町 1.7% (6.1)			
自動交付機の有無				無			回答 58 市町中、「有」20 市町 34.5%				
結果	市民 1 人あたり届出件数	0.22 件	0.23 件	0.26 件	52.6	+	0.23 件	0.61 件	0.05 件	0.24 件	
	市民 1 人あたり諸証明交付	1.23 件	1.26 件	1.25 件	51.2	標準的	1.23 件	1.84 件	0.94 件	1.23 件	
	市民 1 人あたり届出+諸証明交付件数	件	1.50 件	1.51 件	52.8	+	1.46 件	2.10 件	1.07 件	1.46 件	
	市民 1 人あたり税務証明交付件数	0.21 件	0.21 件	0.19 件	45.7	—	0.22 件	0.42 件	0.02 件	0.24 件	
成果	職員 1 人あたり届出+諸証明	2,654 件	3,737 件	4,057 件	47.7	標準的	4,427 件	8,133 件	1,248 件	5,071 件	
	職員構成比	正規職員 91.3% (97.0)、嘱託・臨時・再任用等 8.7% (3.0)						平均 正規 73.4% (73.4)、嘱託等 26.6% (26.6)			
コスト	届出+諸証明 1 件あたり事業費	1,083 円	1,072 円	1,225 円	47.9	標準的	1,353 円	2,479 円	163 円	1,622 円	
	諸証明交付 1 件あたり平均手数料	331 円	329 円	317 円	49.0	標準的	345 円	2,330 円	129 円	315 円	
	税務証明交付 1 件あたり平均手数料	272 円	304 円	302 円	50.2	標準的	296 円	389 円	112 円	247 円	

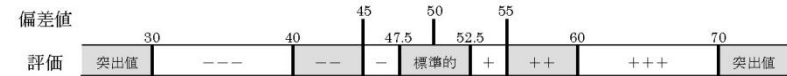
■ネットワーク会議コメント 市以外の機関への委託は郵便局を除いては非常に少ないことが再確認できましたが、自動交付機は 3 分の 1 の市町で導入している様子が伺えました。平均手数料は諸証明交付・税務証明交付とも 08 年度から上がってきていますが、公用を除外した実態に即した数値になっていると見られます。その中で、南魚沼市は、全体的に標準的と見られます。

◆担当課コメント

「職員 1 人あたり届出+諸証明交付取扱件数」及び「届出+諸証明 1 件あたり事業費（人件費含む）」の数値は全国標準的ですが、各庁舎窓口では当該案件以外の多種多様な広範囲の業務も担当しています。

「諸証明」については、自動交付機を導入していますが、費用対効果を考慮しながら更なる市民サービスの方向性も検討します。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



19 男女共同参画社会づくり・国際化対応（国際化を統合：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

指標		08年数値	09年数値	南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	09年平均
在住外国人比率		1.13%	1.10%	1.18%	46.8	—	1.68%	8.77%	0.14%	1.77%
基本	男女共同参画 条例等の有無	条例、推進計画、担当部署、相談窓口、関連審議会、DV防止基本計画、DV相談支援センター 回答 57 市町中、条例等 26 市町 45.6%推進計画等 54 市町 94.7%担当部署 57 市町 100.0%相談窓口 42 市町 73.7%関連審議会 43 市町 75.4%DV 防止基本計画 9 市町 15.8%DV 相談支援センター7 市町 12.3%								
	国際化対応の状況	国際姉妹・友好都市、担当部署、国際交流協会、 回答 54 市町中、国際姉妹・友好都市町 45 市町 83.3%、担当部署 51 市町 94.4%、								
	市民 10,000 人あたり市職員数（全体）	217.4 人	242.9 人	242.8 人	74.3	突出値	133.2 人	254.3 人	54.2 人	133.7 人
	市民 10,000 人あたり市職員数（正規職員）	161.6 人	161.8 人	160.8 人	80.7	突出値	87.8 人	160.8 人	51.1 人	86.8 人
	市民 10,000 人あたり市職員数（嘱託・臨時・再任用等）	48.4 人	81.1 人	72.1 人	62.6	+++	41.0 人	102.9 人	0.6 人	49.2 人
	市民 10,000 人あたり議員数	4.8 人	4.2 人	4.2 人	35.1	—	2.7 人	8.6 人	0.7 人	3.0 人
市民 10,000 人あたり審議会等委員数	46.7 人	45.7 人	45.9 人	52.0	標準的	59.7 人	201.8 人	10.1 人	58.7 人	
結果	市職員に占める女性職員率（全体）	56.2%	59.5%	60.3%	58.8	++	50.1%	74.4%	23.6%	49.1%
	市職員に占める女性職員率（正規職員）	45.6%	46.1%	46.2%	59.7	++	38.5%	53.4%	20.9%	37.9%
	市職員に占める女性職員率（嘱託・臨時・再任用等）	86.8%	86.3%	87.9%	57.3	++	74.8%	92.6%	12.3%	78.9%
	市民 10,000 人あたり男女共同参画推進講座等開催数	3.37 回	1.5 回	1.3 回	50.2	標準的	1.3 回	11.2 回	0.0 回	1.8 回
	市民 10,000 人あたり国際理解講座等開催数	13.5 回	15.7 回	41.6 回	57.8	++	11.2 回	296.1 回	0.0 回	9.5 回
	独自の広報の有無	男女共同参画			58 市町中「有」35 市町 60.3% (59.1)		国際化		53 市町中「有」28 市町 52.8%	
独自の団体支援の有無	男女共同参画			58 市町中「有」34 市町 58.6% (64.2)		国際化		53 市町中「有」41 市町 77.4%		
成果	女性議員率	3.3%	3.8%	3.8%	34.9	—	13.3%	27.3%	0.0%	13.6%
	市管理職に占める女性管理職率	23.9%	26.5%	28.5%	60.1	+++	20.4%	42.0%	1.6%	18.8%
	審議会等に占める女性委員率	18.6%	20.5%	21.2%	43.8	—	25.1%	45.9%	11.7%	24.4%
	市民 10,000 人当り男女共同参画推進講座等参加者数	144.0 人	114.4 人	63.0 人	49.6	標準的	66.7 人	622.8 人	0 人	61.3 人
	市民 10,000 人当り国際理解講座等参加者数	662.6 人	702 人	757.2 人	52.2	標準的	438 人	10,364 人	0 人	252 人
	在住外国人生活支援事業利用率	44.1%	44.0%	44.3%	48.7	標準的	62.3%	786.4%	0.0%	69.1%
コスト	市民 1 人あたり男女共同参画事業コスト	18 円	17 円	17 円	45.1	—	67 円	667 円	1 円	67 円
	市民 1 人あたり国際化推進事業コスト	64 円	147 円	594 円	98.7	突出値	87 円	594 円	0 円	56 円

■ネットワーク会議コメント 男女共同参画と国際化を一つの指標群としました。職員数等は変化が少ない中で、南魚沼市は、正規職員を中心に職員数がかなり多いことが指摘できます。国際化に対する施策展開は積極的と見られます。

◆担当課コメント

職員数が多い理由は、病院（診療所）2 か所が直営であること、公立保育園の割合が高いこと、消防行政を行っていること等が考えられます。これらに従事する職員が全体の約 4 割を占めており、また、病院、保育園職員に女性が多いことから、女性職員率は高くなっています。女性委員率につきましては、総合計画で女性委員率 25% を目標に掲げていますが、引き続き女性委員率の上昇を目指して努力していきます。また講座や講演会等については、今後も市報等を通じ周知を行い、参加者の拡大に努めていきたいと考えています。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



20 公の施設の管理運営事業（試行：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

	南魚沼市数値	平均値	最大値	最小値		南魚沼市数値	平均値	最大値	最小値		南魚沼市数値	平均値	最大値	最小値
宿泊	1	1.1	6	0	指定 管理 率	100.0%	87.0%	100.0%	0.0%	利用 者 率	18.8%	81.8%	486.9%	0.3%
日帰入浴	3	2.0	16	0		100.0%	85.1%	100.0%	0.0%		141.6%	314.3%	1402.8%	13.3%
健康増進	0	0.7	15	0		%	75.9%	100.0%	0.0%		%	87.9%	458.4%	2.3%
物産販売	0	0.7	5	0		%	90.7%	100.0%	0.0%		%	229.8%	1026.0%	3.3%
観光案内	1	0.6	4	0		100.0%	82.6%	100.0%	0.0%		34.3%	84.9%	318.8%	1.1%
その他	6	19.2	603	0		100.0%	59.8%	100.0%	0.0%		122.7%	319.5%	1994.8%	0.8%
全施設						100.0%	75.6%	100.0%	0.0%		317.4%	523.2%	2883.7%	1.2%
宿泊	2,462 円	5,095 円	17,417 円	0 円	市民 あたり コスト	462 円	1,854 円	11,452 円	0 円	人 件 費 割 合	46.3%	39.4%	62.8%	0.0%
日帰入浴	420 円	1,019 円	3,019 円	140 円		595 円	2,599 円	12,003 円	41 円		41.9%	38.5%	76.1%	1.5%
健康増進	円	1,851 円	12,897 円	278 円		円	1,193 円	7,505 円	0 円		%	27.4%	67.8%	0.0%
物産販売	円	543 円	1,980 円	0 円		円	883 円	9,045 円	0 円		%	43.0%	85.4%	0.0%
観光案内	1,992 円	472 円	2,205 円	0 円		684 円	150 円	712 円	0 円		52.6%	59.8%	100.0%	0.0%
その他	842 円	2,178 円	10,165 円	189 円		1,033 円	6,352 円	140,108 円	0 円		26.3%	35.4%	86.7%	0.0%
全施設	874 円	1,824 円	15,739 円	50 円		2,774 円	6,719 円	140,948 円	163 円		39.5%	32.8%	55.9%	0.0%
宿泊	2,439 円	4,415 円	18,062 円	125 円	利用 者 支 出 ／ 市 支 出	99.1%	82.8%	157.0%	9.0%	配置職員 1 人あたり平均サービス人口				
日帰入浴	427 円	648 円	3,306 円	0 円		101.5%	68.6%	121.7%	0.0%	1,760 人	10,572 人	222,938 人	172 人	
健康増進	円	1,239 円	12,897 円	0 円		%	34.5%	105.0%	0.0%	配置職員に占める市町職員割合（正規・非正規とも）				
物産販売	円	483 円	2,000 円	0 円		%	94.3%	130.9%	7.4%	0.0%	16.0%	100.0%	0.0%	
観光案内	2,084 円	264 円	2,084 円	0 円		95.6%	270.1%	1549.9%	26.2%	配置職員に占める指定管理者職員割合				
その他	764 円	691 円	3,813 円	0 円		90.7%	48.6%	150.4%	0.0%	100.0%	138.7%	1900.0%	3.8%	
全施設	855 円	1,221 円	15,517 円	4 円		97.8%	66.7%	148.3%	0.4%					

■ネットワーク会議コメント 南魚沼市は、日帰り入浴施設を中心に指定管理者制度を用いて多くの施設を運営している様子が伺えます。日帰り入浴施設は利用者率も高く、僅かながらも黒字となっていることをはじめ、提供データによる限り、比較的安定した運営になっているように見受けられます。

◆担当課コメント

対象とした施設は、大規模なものは無く、数値的には概ね良好な結果となりました。しかし、施設によっては利用者率や老朽化など課題も散見されるので、今後とも健全な運営に努めたいと思います。

AG 南魚沼市 10 年度カルテ



21 消費者行政（試行：データ提供 58 市町）

■南魚沼市データの評価と全体での位置

		南魚沼市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	
基本	1 相談窓口あたり平均サービス人口	人			157,771 人	668,814 人	2,556 人	
	1 消費生活センターあたり平均サービス人口	61,612 人			206,997 人	668,814 人	37,547 人	
	消費者行政活性化プログラムの有無	無			58 市町中「有」44 市町 75.9%			
結果	配置職員 1 人あたり平均サービス人口	30,806 人	44.4	—	54,961 人	258,829 人	10,892 人	
	専任職員率	0.0%	40.4	—	43.8%	100.0%	0.0%	
	消費生活相談員 1 人あたり平均人口	20,537 人	38.4	—	53,615 人	114,662 人	11,032 人	
	消費生活指導員相当保有者率	0.0%	29.5	突出値	76.3%	100.0%	0.0%	
	市民 10,000 人あたり相談対応人日／週	1.14 人日	55.6	++	0.76 人日	3.80 人日	0.00 人日	
	職員等 1 人あたり年間研修回数	2.4 回	47.0	-	3.6 回	25.8 回	0.0 回	
	市民 10,000 人あたり出前講座等開催数	0.32 回	44.4	—	0.78 回	3.76 回	0.00 回	
成果	市民 10,000 人あたり相談・苦情件数	5.0 件	50.8	標準的	4.7 件	12.5 件	0.0 件	
	市民 10,000 人あたり出前講座等参加者数	14 人	44.6	—	38 人	212 人	0 人	
	出前講座 1 回あたり参加者数	44 人	48.2	標準的	61 人	639 人	18 人	
コスト	相談・苦情件数あたり管理運営コスト(利用者コスト)	31,177 円	48.2	標準的	45,508 円	432,893 円	4,408 円	
	市民 1 人あたり管理運営コスト(投資コスト)	154 円	50.2	標準的	149 円	1,476 円	9 円	
	コスト構成	事業費	0.0%			26.4%	100.0%	0.0%
		人件費	76.4%			59.3%	90.2%	0.0%
管理費		23.6%			14.3%	100.0%	0.0%	

■ネットワーク会議コメント 南魚沼市の事業展開に対する市民の対応は標準的です。コストも標準的ですが、消費生活指導員相当保有者率が上がるように研修を担当職員が受けられるよう、県とご相談されることを期待します。

◆担当課コメント

今年度、消費生活相談窓口を「消費生活センター」として正式に設置しました。市民の皆さんが気軽に相談していただけるようセンターを周知します。市民の相談にスムーズに対応できるよう相談員の専門知識の向上に努めます。